

クイック・スタート・ガイド

クイック・スタート・ガイドでは、IBM Security Directory Server を素早く簡単にインストールする方法を説明します。

グローバル化: IBM Security Directory Server 資料で、他の言語のクイック・スタート・ガイドを入手できます。

製品概要

IBM® Security Directory Server (旧称 IBM Tivoli® Directory Server) は、Microsoft Windows、AIX®、Linux (System x®、System z®、System p®、および System i®)、Solaris、および Hewlett-Packard UNIX (HP-UX) (Itanium) の各オペレーティング・システム用の Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) の IBM 実装環境です。

IBM Security Directory Server は、DB2® データベースを使用することでディレクトリー情報を格納するサーバー、LDAP 操作を適切なディレクトリー・サーバーにルーティングするためのプロキシ・サーバー、クライアント・ユーティリティ、およびサーバーとユーザーを管理するためのグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を提供します。

1 ステップ 1: ソフトウェアおよび資料へのアクセス



<http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21496581#v631> から、サービス・ストリーム機能拡張 6.3.1.5 付きの IBM Security Directory Server バージョン 6.3.1 をダウンロードできます。

この製品オファリングには、次のコンポーネントが含まれています。

- IBM Installation Manager
- IBM Security Directory Server
- IBM DB2 Universal Database™ (Enterprise Server Edition/Workgroup Server Edition)
- WebSphere® Application Server 組み込みバージョン
- IBM Global Security Kit (GSKit)

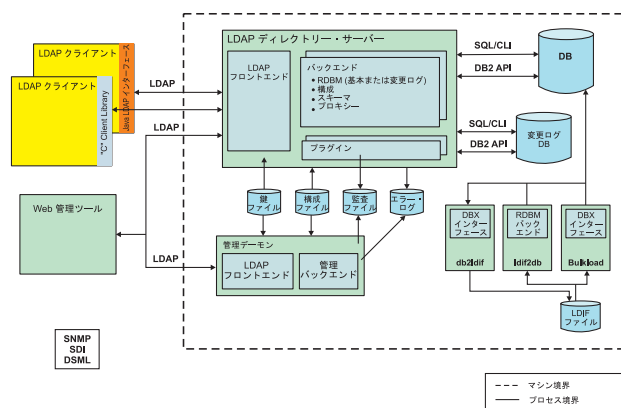
http://www-01.ibm.com/support/knowledgecenter/SSVJJU_6.3.1.5/com.ibm.IBMDS.doc_6.3.1.5/welcome.html から、IBM Security Directory Server 資料にアクセスできます。

2 ステップ 2: ハードウェアおよびシステム構成の評価



ご使用のオペレーティング・システム向けのハードウェア構成およびシステム構成については、Software Product Compatibility Reports の Web サイト (<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/prodguid/v1r0/clarity/index.html>) を参照してください。詳しくは、「IBM Security Directory Server 製品概要」を参照してください。

3 ステップ 3: 製品アーキテクチャーの確認



4 ステップ 4: サーバーへの製品のインストール



Microsoft Windows オペレーティング・システム上に IBM Security Directory Server 6.3.1.5 をインストールするには、IBM Installation Manager を使用します。IBM Installation Manager を使用したフィックスパックのインストールのセクションに記載の説明に従います。

AIX、Linux、および Solaris のシステム上に IBM Security Directory Server 6.3.1.5 をインストールするには、オペレーティング・システムのユーティリティーおよびスクリプトを使用します。ネイティブ・スクリプトを使用したフィックスパックのインストールのセクションに記載の説明に従ってください。

フィックスパック・アーカイブの README ファイルに記載の情報を使用して、インストールを完了してください。

5 ステップ 5: データベースのインストール



まだ DB2 をインストールしていない場合は、IBM Installation Manager または DB2 コマンドを使用して、コンピューターへの IBM DB2 のインストールを実行できます。詳しくは、セクション『IBM DB2 のインストール』を参照してください。

6 ステップ 6: 作業の開始



IBM Security Directory Server と相互に必要なソフトウェアをインストールしたら、ディレクトリー・サーバー・インスタンスを作成します。インストール後のステップについては、セクション『インストールおよび構成』を参照してください。

詳細情報



IBM Security Directory Server 資料: http://www-01.ibm.com/support/knowledgecenter/SSVJJU_6.3.1.5/com.ibm.IBMDS.doc_6.3.1.5/welcome.html

IBM 技術サポート: <http://www.ibm.com/support/entry/portal/overview>

IBM Publications Center: <http://www-05.ibm.com/e-business/linkweb/publications/servlet/pbi.wss>

IBM 研修 Web サイト: <http://www.ibm.com/software/tivoli/education/>

IBM Support Assistant: <http://www.ibm.com/software/support/isa/>

IBM ユーザー・コミュニティー: <http://www.ibm.com/community/>

